



C. BECHSTEIN  
KLAVIERSCHULE

## コンクール概要

### 日程・会場

- 予選受付締切 2022年12月17日(土) 締切当日消印有効
- 本選出場者発表 2023年1月21日(土)予定
- 予選参加者全員に文書にて通知、ベヒュタイン・ジャパン ホームページにて結果発表掲載
- 本選 2023年4月28日(金)、29日(土) B部門(一般部門)  
4月30日(日) A部門(ピアノ演奏家部門)
- 本選会場 ベヒュタイン・セントラム 東京(日比谷ザール)  
(東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビルB1F)  
A・B部門共に本選終了後、会場にて入賞者を発表

### 表彰・賞

- ノアン賞: ノアン フェスティバル ショパン イン フランス2023の参加権利  
～ノアン フェスティバルの公開マスタークラス4日間の受講と、ノアン フェスティバルの修了コンサートで演奏することができます。～  
日程: マスタークラス 2023年7月21、22、24、25日  
修了コンサート 2023年7月26日
  - ショパン・ナイト賞: ショパン・ナイトの参加権利  
～ショパンの命日にお城で演奏します。～  
日程: 2023年10月14日
  - ノアンパスポート賞: ノアン フェスティバル ショパン イン フランス 2023のコンサートパスポート
  - ベヒュタイン・サロン賞: イヴ・アンリ教授レッスンの受講権利(1コマ)
- ※各カテゴリーの中で1位から3位を表彰し、表彰状およびトロフィーを授与いたします。  
※部門により対象の賞が異なります。詳細は要項をご参照ください。

### 部門及び参加資格

- A部門(ピアノ演奏家部門)
- B部門(一般部門)

### 審査方法

- 予選 DVD録画による審査 審査員: イヴ・アンリ
- 本選 公開コンサート形式

### 本選審査員(予定)

イヴ・アンリ(ピアニスト、作曲家、パリ国立音楽院教授、2015年ショパン国際ピアノコンクール事前審査員、2016年R.シューマン国際ピアノコンクール審査員、2023年第2回ショパン国際ピリオド楽器コンクール審査員)他

### 参加費(全て税込)

予選: A部門 12,000円 B部門 10,000円

本選: A部門 23,000円 B部門 23,000円

※会場までの旅費及び宿泊費等は参加者のご負担となります。

### お申込みの流れ

- 当コンクールの参加申込書と要項を店頭もしくはベヒュタイン・ジャパン ホームページより入手ください。
- <https://www.bechstein.co.jp/>
- 要項を必ず最後までお読みの上、申込書に必要事項を全て記入し、顔写真(カラー 4cm×3cm)と録画DVD添付(もしくはYouTubeのURL添付)の上、株式会社ベヒュタイン・ジャパン本社ショールームまでご郵送ください。  
応募方法は「郵送」のみとします。(締切当日消印は有効)
- 参加費を下記へお振込みをお願いします。  
支払期限は2022年12月17日(土)です。  
支払期限が過ぎた場合は参加資格が取り消しとなりますのでご注意ください。  
①～③が全て必要です。

#### お振込先

銀行名 三菱UFJ銀行 烏山支店  
店番 358  
口座番号 普通 5341522  
口座名 力)ベヒュタイン・ジャパン



### 要項のご請求・申込書送付先・お問合せ先

株式会社ベヒュタイン・ジャパン本社ショールーム(水曜定休)  
〒157-0061 東京都世田谷区北烏山9-2-1

TEL: 03-3305-1211  
E-mail: competition@bechstein.co.jp  
担当/泰田・白川

主催 株式会社ベヒュタイン・ジャパン  
協賛 Nohant Festival Chopin in France  
後援 C. Bechstein Pianofortefabrik AG(ドイツ・ベヒュタイン本社)  
公益財団法人 日本ピアノ教育連盟  
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

# 4th Nohant Festival Chopin in Japan Piano Competition

## 第4回

# ノアンフェスティバル ショパン イン ジャパン ピアノコンクール



第4回「ノアンフェスティバル ショパン イン ジャパン ピアノコンクール」はベヒュタイン・ジャパン招聘ピアニストであるイヴ・アンリ教授が主宰するノアンフェスティバル ショパン イン フランスでの招待ピアニスト、関連する行事での招待受講生を選考するコンクールです。フランスのこのフェスティバルでは過去にチッコリーニやツィメルマンといった超一流のピアニストが演奏を行っており、2021年に55周年を迎えました。

参加対象は5歳から年齢制限無しを対象とし、コンクール予選はアンリ教授によるDVD審査、本選はベヒュタイン・セントラム 東京にて公開コンサート形式で開催いたします。

本選出場者の中から選ばれた方はフランスのノアンフェスティバルでの演奏会や講習会等に参加することができます。

## ご挨拶



### Yves Henry Président du Nohant Festival Chopin

Le Nohant Festival Chopin est l'un des plus anciens de France. Fondé en 1966 par le grand pianiste Aldo Ciccolin, ce festival ne ressemble à aucun autre car il a lieu dans un endroit historique situé au cœur de la France : le domaine de George Sand à Nohant, où Frédéric Chopin a passé de longs mois chaque année entre 1839 et 1846, composant dans cette maison la plupart des chefs-d'œuvre de la maturité. Pour les pianistes du monde entier, jouer Chopin dans ce festival est donc un rêve. Cette 4ème édition du Nohant Festival Chopin in Japan Competition, organisé avec notre partenaire Bechstein, offre la possibilité au gagnant de jouer à Nohant, de réaliser ce rêve... Les précédentes éditions du concours ont permis à plusieurs gagnants très talentueux de réaliser leur rêve et je suis très heureux d'avoir pu y contribuer. Je suis certain que cette fois encore, de très bons candidats se présenteront pour ce concours. Je leur souhaite dès maintenant bonne chance et leur donne rendez-vous en 2023.

### イヴ・アンリ ノアンフェスティバル ショパン会長

ノアンフェスティバル ショパンは、フランスで最も古くから始まった音楽祭の一つです。大ピアニストのアルド・チッコリーニによって、1966年に創設されたこのフェスティバルは他に例を見ない音楽祭です。なぜなら、ショパンが1839年から1846年まで毎夏の数ヶ月間滞在し、傑作の大部分を作曲したフランスの中央部、ノアンのジョルジュ・サンドの領地で開催されるからです。世界中のピアニストにとってこのフェスティバルでショパンを演奏することは、夢の一つでしょう。私どものパートナー、ベヒュタインと共に企画する『第4回ノアンフェスティバル ショパン イン ジャパン ピアノコンクール』は、優勝してノアンで演奏をするという大きな夢を実現する可能性を提供します…。前3回のコンクールでは、非常に才能あるピアニストたちがこの夢を実現しました。私はそれに貢献できたことをとても幸せに思っています。今回もまた、非常に優秀な候補者がこのコンクールに出場なさることを確信しています。今からすでに、彼らが素晴らしいチャンスを得られ、2023年にお会いできることを祈っています。

(大倉景子訳)

## コンクール受賞者はこのような体験をされました。

### ～2019年フランスのノアン フェスティバル、ショパン・ナイトでの様子～

※2021年ノアン賞の永倉茉弥さんは2022年夏、ショパンナイト賞 中西知子さん、藤澤亜里紗さんは2022年秋に渡仏予定。

#### 津金澤 広大さん ノアン賞受賞 ノアン フェスティバル ショパン イン フランス2019での公開マスタークラス受講と修了演奏会出演

先生から「こんなコンクールがあるよ」とたまたま提案して頂いたこのコンクールでしたが、結果的に自分にとって素晴らしい経験へと繋がりました。ノアンはとてもどこかで、現地の人も皆笑顔で接してくれる気温も気持ちも暖かい場所でした。普段の自分の日本でのピアノといえば、都会にある音大に通い、近郊にある自宅で練習してという様な忙しさに追われるものばかりでしたが、今回の様などかな場所で伸び伸びとピアノを弾くのは初めてで、今まで知らなかった音楽の良さを沢山知ることができました。アンリ先生はマスタークラスで生徒とのコミュニケーションを大事にしてくれ、わからない所も丁寧にわかるまで教えてくださり、レッスンは安心感がありました。毎回お客様の反応もとても良く、4回のレッスンはいつも楽しかったです。コンサートも細かいものを含めると全部で4回ありました。お客様は皆自分

の音楽をよく聴いてくれており、演奏が終わった後は信じられないくらい!大きな拍手をくれました。人前で演奏するのが楽しいと、恐らく初めて感じました。このフェスティバル参加のきっかけは大したことではなかったですが、結果的に自分にとって特別なものになりました。

今回、何から何まで手助けしてくださった大倉さん、とっても優しかったもう2人のメンバー、アンリ先生、フランスでの聴衆、このコンクールを企画してくださったベヒシュタイン・ジャパンの方々、その他このフェスティバル参加を支えて下さった人達の助けで素晴らしい体験をすることができました。皆さんに感謝を伝えたいです。

もしこれからこのコンクールを受ける人がいましたら、フェスティバル参加の機会が得られれば、間違いなく特別な体験へと繋がると思います!



モーリスサンド劇場での公開レッスンの様子



羊小屋ホール修了演奏会



修了演奏会後、1週間共に過ごした受講生とアンリ教授、ベリー地方の音楽団と

#### 後藤 アリサ 優子さん ショパン・ナイト賞受賞 ショパンの命日にノアン・アルス城にて演奏

ショパンナイト賞受賞者として演奏させていただいたノアンの古城でのコンサートは、振り返ると、あんな素敵で貴重な体験ができたのかと不思議に思うような一日でした。この機会をくださったアンリ先生、ベヒシュタイン・ジャパンには本当に感謝いたします。コンサートの前日は天気が悪く、練習に行くと、自然に囲まれた雨の中のシャトーのたたずまいが何とも言えずロマンチック。会場には、19世紀製のプレイエルとシュトライヒヤーが用意してあり、どちらも試してみてからショパンに似合う方、と思ってプレイエルを選びました。

プレイエルというピアノは、いつもの黒い大きい現代ピアノで弾くのと違った弾き方、表現の仕方を求めてきました。もっと間を取ってみて。ここの和音は分散でどう。ペダルでもっと色々実験してみて。もっと力を抜いて…といったふうに。中音域では、メロディーを弾くとほとんどひとりでには、はっとするほどカントーピアノで歌口のように歌ってくれる。ショパンの曲がどんどん違う風に聴こえてきました。とても2日間の練習で知り尽くせるピアノではなく、コンサートの本番になると聴衆入り、照明と暖房と演奏の興奮などで会場も練習のときとはまるで違うホールに変身するので、ピアノの感じがまた少し違って、こういう音も出るんだ、この曲はこう弾くこともできるのかな、と新しい発見があつたりしました。心から音楽を楽しもうと聴きにいらした聴衆の方々に囲まれ、窓からは牧歌的な風景が見えるシャトーで、歌うような音のピアノで大好きなショパンを弾く、まさに至福のときでした。緊張や興奮と幸福とが混ざって本当に忘れるがいい思い出となり、もっといい演奏ができるように頑張らないとというモチベーションにもなりました。

フランスらしいお洒落なディナーの後でアンリ先生の演奏があって、聴いていると目から鱗がばらばら。私が試したときにはコントロールしにくく、ショパンよりはベートーベンの音楽が似合うと思ったシュトライヒヤーのピアノで、ショパンの大円舞曲などに華やかに大胆に息を吹き込む。ノクターンOp.48 No.1が特に感動的でした。コンサートが終わって前庭の森と門を車で抜け、ショパンの時代は馬車でここを走ったのか、想像を巡らせながら時計を見ると、夜中を過ぎて10月17日、ショパンの命日になっていました。



コンサート会場である、アルス城



演奏会後、アンリ教授、他の出演者と

#### ノアン フェスティバルに参加された今までの受講者の皆様



2018年夏にノアン フェスティバルに参加された山縣美季さんの修了コンサートの様子

2018年秋のショパン・ナイトに出演された森山光子さん(右)と稻田つづるさん(左)

## 開催の趣旨



### 戸塚 亮一

(株)ベヒシュタイン・ジャパン  
代表取締役会長

「第4回ノアン フェスティバル ショパン イン ジャパン ピアノコンクール」を迎えることが出来、イヴ・アンリ教授にまず感謝を申し上げます。ご承知の様にこのコンクールは、他のコンクールに比較して、「賞品」に最大価値があります。つまり、優勝者何名かにフランスでのレッスン、ノアンで開催されるショパンフェスティバルに参加、所謂マスターコースに参加しつつ、世界の著名なピアニストに交じって、コンサートに出演したり、彼らの演奏を間近に聴いたり、という経験ができます。

さて弊社、ベヒシュタイン・ジャパンとしましては、今年2022年に"ベヒシュタイン"のピアノとしての優位性が認められて、「第91回日本音楽コンクール」の公式ピアノに採用されました。その第2予選で、約50名のコンテスト全員がベヒシュタインを弾かなければなりません。その課題曲が、バッハとその他作曲家の作品ですが、ショパンのピアノ曲を1曲は入れて演奏しなければなりません。前回にも述べましたが、ショパンとベヒシュタインは切っても切れない関係にあるピアノです。

この様に、日本のピアノ界も、数十年遅れて、漸く、ピアノはブランドではなく、「ピアノの個性」に気付いてきたようです。

どうかこの「第4回 ノアン フェスティバル ショパン イン ジャパン ピアノコンクール」、そして、「第91回日本音楽コンクール」の第2予選(9月23日(祝・金)～25日(日)・東京・飯田橋のトップパンホール)にて、思う存分、「ベヒシュタインの魅力」を発見、ご堪能ください。

### 当コンクールで ベヒシュタインを使用する意義



### 加藤 正人

(株)ベヒシュタイン・ジャパン 代表取締役社長  
ドイツピアノ製造マイスター

ノアン フェスティバル ショパン イン ジャパン ピアノコンクールの第4回を開催できること、コンテスト全員がベヒシュタインを使用することによって、コンクールの質が向上する。また、コンクール運営の透明度が高まり、信頼性が増す。これは、コンクールの公信力向上につながる。

コンクール運営の透明度が高まることで、コンクールの公信力が向上する。これは、コンクールの公信力向上につながる。また、コンクール運営の透明度が高まることで、コンクールの公信力が向上する。これは、コンクールの公信力向上につながる。

ショパン自身がイメージした音楽表現を考えるに、ショパンの言葉と言われる「自分自身の音を見出すのにプレイエルが必要だ」の意味を、同時に考えてみる必要があるのではないか。この「自分自身の音」の意味を、音楽の中にある響きの多層性そして、特に弱音階部分での人の会話のような抑揚感を指しているとすれば、ショパンがプレイエルを好んだ理由が説明できます。プレイエルは、音域ごとの響きの違い、その透明感、弱音における抑揚の幅は、当時のピアノの中で群を抜いています。そのプレイエルのドイツドレスデン工房の門を1845年に若きカール・ベヒシュタインは叩き、4年に亘る修行後もさらにベルリンとパリで修行を継続しました。

パリではプレイエルと影響関係があるクリーゲルシュタインの工房、またロンドンでも修行を重ね、1853年ベルリンで自らの工場を創業しました。若きカールの修行時代の足跡をから頷ける技術、例えば響板構造を見てみれば、プレイエルの影響を大きくうけていることが頷けます。現在のピアノ製作にも踏襲されるこれらの技術には、当時美德とされた演奏表現にプライオリティーが置かれていることがわかります。

コンクールとして参加される方々にはぜひ、このフェスティバルがノアンで行われる意味をご理解いただき、19世紀を今日に伝える表現のメッセージを充分体験していただきたいと思います。